

< 第 16 節終了時点順位表 >

	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	駒 澤 大 学	10	3	3	39	14	+25	33
2	法 政 大 学	8	3	5	29	19	+10	29
3	国 士 館 大 学	8	4	4	22	19	+3	28
4	筑 波 大 学	7	4	5	36	22	+14	26
5	東 京 農 業 大 学	6	5	5	16	24	-8	23
6	順 天 堂 大 学	6	7	3	27	26	+1	21
7	流 通 経 済 大 学	5	6	5	16	24	-8	20
8	東 京 学 芸 大 学	6	8	2	25	23	±0	20
9	中 央 大 学	5	7	4	25	27	-2	19
10	明 治 大 学	5	7	4	20	24	-4	19
11	垂 細 垂 大 学	4	8	4	14	26	-12	19
12	日 本 大 学	2	10	4	17	36	-19	10

国士館大学はリーグ戦後に勝ち点 - 7 とする

得点ランキング

- 10 ゴール 市川雅彦(法 大)
- 9 ゴール 赤嶺真吾(駒 大)
- 8 ゴール 原 一樹(駒 大)
- 7 ゴール 宮崎大志郎(駒 大)
- 井上 平(法 大)
- 他 1 名

アシストランキング

- 11 アシスト 藤本淳吾(筑波大)
- 6 アシスト 石川高大(東農大)
- 5 アシスト 赤嶺真吾(駒 大)
- 巻 佑樹(駒 大)
- 島田祐輝(駒 大)
- 高野耕平(東学大)

試合に敗れ、うなだれるイレブン。この試合の反省を踏まえ次節の勝利を誓う



中盤のこぼれ球を拾い、東農大の攻撃を最小限に留めた桑原

ゴール前まで走り込みこぼれ球を狙う原。しかし、チーム全体が前に急ぎ過ぎ、ロングボールを多用した結果、相手 GK にボールをキャッチされる場面が目立った。



56 分にピッチに登場した小野里。昨年のインカレ以来、久々の公式戦出場となった

東農大のロングボールをクリアする廣井(左) 同じセンターバックの阿部とともに、失点以外ではほぼ完璧なディフェンスをみせた



9月24日 14:10 川口市青木町公園総合運動場

駒大 0 (0 - 1) 1 東農大 (1 位・33) (5 位・23)

得点者(アシスト)

【東】1分: 鴨志田真生 3 (高橋延仁 2)

KOMAZAWA	TOKYONODAI
GK 牧野利昭(4)	GK ³¹ 藤井賢心(1)
DF 塚本泰史(2)	DF 剣持貴充(3)
DF 廣井友信(3)	DF 太田浩二 (3)
DF 阿部琢久哉(3)	DF 澤本惣平(4)
DF 筑城和人(3)	(89分 斉藤 亮(4))
MF 桑原 靖(4)	DF ³⁸ 工藤拓生(1)
MF ²⁸ 笹岡新五(4)	MF 古橋 憲(3)
(65分 原 一樹(3))	MF 石川高大(4)
MF ³³ 島田祐輝(1)	MF 高橋延仁 (4)
(56分 ³⁴ 小野里銀児(2))	MF ²¹ 阿部文宣 (3)
MF 鈴木亮平(4)	(86分 ⁴⁶ 横田倫光(1))
FW 赤嶺真吾(4)	FW 浅田裕史 (4)
FW 巻 佑樹(3)	FW ⁴⁰ 鴨志田真生(1)
	(86分 山崎雄太(4))

S U B	S U B
GK ²¹ 三栗寛士 (3)	GK 山城共央(3)
DF ¹³ 菊地光将(2)	DF ³⁴ 小池泰右(2)
DF 石井晃一(4)	DF ³⁵ 新庄翔太(2)
MF 宮崎大志郎(3)	FW 深澤宏介(3)
MF ²⁵ 田谷高浩(2)	

MANAGER	MANAGER
秋田浩一	高橋武夫

【駒】15分: 笹岡新伍(C)、53分: 鈴木亮平(C) 61分: 赤嶺真吾(C)、71分: 巻 佑樹(C) 77分: 阿部琢久也(C)
【東】49分: 石川高大(C)、83分: 石川高大(C) 83分: 石川高大(S)、86分: 澤本惣平(C)

【シュート】9:7[GK]2:15[CK]1:5[PK]0:0[直接FK]14:26
【間接FK】9:9[OS]19:9[主審]大塚晴弘[観衆]約200人

上記データは全て左側の数字が駒澤



高校選手権・得点王の山下。期待のルーキーがいよいよボールを脱ぐときが近づいてきた



前期 Jr.リーグ MVP の高崎。前期リーグの筑波戦で公式戦初出場。次は初スタメン・初ゴールを狙う

駒大に緊急事態発生!! 次節4人が出場停止

駒大に、緊急事態が生じた。次節・中大戦では赤嶺、巻の駒大のツインタワーに加え、トップ下の鈴木亮、右サイドハーフの笹岡の計4名が累積警告のため、出場停止となってしまった。トップ下は宮崎、赤尾。右サイドでは東平、最上といった中盤の層が厚い駒大にとってダメージは最小限に抑えられる。しかし、最終ラインからフィードで攻撃を始める駒大にとってポストプレーヤーである赤嶺、巻の両選手の出場停止は大きい次節・中大戦の予想される2トップでは間違いなく当確であろう。現在のサッカーではタイプの異なるFWを組み合わせるのが基本となる。となるともう一人のFWは最前線で身体を張るタイプとなる。その候補としては、前期 Jr.リーグで MVP を獲得した高崎。高校選手権得点王として加入したルーキーの山下。前期、東学大戦で途中出場した印出が挙げられる。

山下、印出が出場した Jr.リーグの結果を見ると、ハットトリックを達成した印出が一步リードしているように見える。しかし、中大戦は15日。その間に2試合練習試合が組まれている。秋田監督も「2週間期間があるから」とコメントしている。そのため現時点ではほぼ横一線と見てもいいだろう。(川崎 篤彦)

